

錦糸町わくわく通信

2022.9
第38号

●お問合せ●
東都よみうり新聞社
TEL.03-6663-9010



秋開催で復活



8月上旬に「モクシー大阪」で演奏の専用映像が収録された (提供:錦糸町河内音頭実行委員会)

祝
40
周年

高架下の空間に熱い時間が戻ってくる! すみだ錦糸町河内音頭大盆踊り

- 【主催】錦糸町商店街振興組合
- 【日時】9月24日(土)午後1時30分～5時30分
※「踊りエリア」の入場は予約定員数満了
- 【会場】豊川親水公園特設会場(江東橋3～5丁目周辺首都高高架下)
- 【内容】新しい形態で試行する with コロナの河内音頭
・「踊りエリア」は事前申し込みをした踊りの参加者のみ入場可能にし、生演奏は実施せず大阪で収録した演奏の専用映像を大型LEDモニターに投影して盆踊りを行います。踊りの様子は自由通路から観覧可能です(密になる場合は通行制限あり)
- 【問い合わせ】「すみだ錦糸町河内音頭大盆踊り」(kinshichokawachiondo.jp)問い合わせフォームへ



8月14日の夏開催で盛り上がった大横川親水公園イベント広場ステージ



(提供:すみだストリートジャズフェスティバル実行委員会)

8月のすみだジャズ「ゼロ」も大成功! すみだストリートジャズフェスティバル × すみだワンコインオクトーバーフェスト

- 【主催】すみだストリートジャズフェスティバル実行委員会
- 【日時】10月15日(土)・16日(日)
- 【会場】錦糸町駅、両国駅、および東京スカイツリー周辺
※「すみだワンコインオクトーバーフェスト」は錦糸公園で開催
- 【内容】今年度は試験的に夏に1日間、秋に2日間の分散開催になります
・公園や飲食店、商業施設など屋内外のステージでストリートライブが楽しめます(全会場入場無料)
・錦糸公園を会場にキッチンカーや、各地のクラフトビールなどを提供するすみだジャズ独自のオクトーバーフェストが展開されます
・このほかに家族で楽しめるイベントも多数
- 【問い合わせ】「2022年すみだストリートジャズフェスティバル」(sumida-jazz.jp/sj/)問い合わせフォームへ

イベントの内容は新型コロナウイルス感染拡大状況により中止・変更となる場合があります

丸井錦糸町店

「BOUSAI FES - 防災フェス2022-」開催

防災の日(9月1日)に合わせて普段から買い物に訪れる場所で気軽に防災について知ってほしいと、丸井錦糸町店で体験型防災イベント「BOUSAI FES - 防災フェス2022-」が、8月26日から9月4日まで開かれた。

特設コーナーでは、牛丼チェーン店の防災食缶詰やアレルギー食材を除去したスープ、ソーラーパネル付のファンなど、身近な地域で起こりうる自然災害に備えるきっかけとなる商品を紹介した。また墨田区防災課の協力で期間中に起震車や煙体験ハウスが店頭で登場し、体験に参加する親子連れなどで賑わった。



▲錦糸町店の店頭で行われた起震車体験
▼長期保存の食材やアウトドアなどにも使えるおしゃれな防災用品を紹介するコーナー

錦糸町テルミナ

錦糸町テルミナが運営するオンラインショップ「Get! East Tokyo」 2022年8月26日(金)グランドオープン



イースト東京の素敵なお店が集まるオンラインショップ「Get! East Tokyo」でイースト東京のいいモノをゲットしよう。2022年8月26日(金)～9月30日(金)はグランドオープンキャンペーン！
詳細は専用サイト <https://get-east-tokyo.shop/> をご覧ください。

★出品希望者も募集中

錦糸町Worker 4th 街を語る

※このコーナーは錦糸町で仕事をする方に街との関わりについて語ってもらいます。第4回目は、40年の歴史を重ねる「すみだ錦糸町河内音頭大盆踊り」を、地元の主催者と音楽関係者の架け橋として支えてきた坂井ユカコさんにお話を聞きました。

「すみだ錦糸町河内音頭大盆踊り」はコロナ禍での中断を経て3年ぶりの開催となります。密が生じやすい大型イベントの催行はどことも悩みながら決断しているようですが、錦糸町河内音頭もwithコロナの新たな形態で実施するのでしょうか。

坂井:本来は会場に来た人が思い思いに踊りの輪に入って楽しめるのが一番なのですが、感染拡大の先行きが見えないこともあり、昨年の代替イベント「今年は錦糸町で河内音頭」を参考に踊るエリアや人数を予約制で制限し、音楽も生演奏の代わりに大阪で収録した音頭取りたちの映像を大型画面に流します。一昨年の夏から私と盆踊り仲間たちで6回ほど開いている「すみだ輪おどり」のノウハウを生かし、堅川親水公園の会場で互いに向き合うことなく踊る条件で必要な間隔を計算すると参加可能人数は500人になりました。応募は即日定員に達する申し込みがありました。

周知な準備を進めておられることがよくわかります。ところで坂井さんは、「錦糸町を元気にする会(錦元会)」が発足した2010年から河内音頭を主催する錦糸町商店街振興組合の関係者として同会に参加しておられました。区議会議員に当選された2015年からはオブザーバーとなりましたが、「河内音頭の坂井さん」であることは変わりません。そもそも河内音頭には何がきっかけで関わることになったのでしょうか。

坂井:15年ほど前に東京芸術大学の千住キャンパスで開かれた河内音頭をテーマにしたフォーラムのようなイベントがきっかけです。当時は長らく住んでいた大阪からお嫁に来て間もない頃で、単純に「大阪の人と話したい」という動機から河内音頭についてはよく知らないまま参加しました。でも会



坂井 ユカコ さん
(錦糸町河内音頭実行委員会事務局・墨田区議会議員)

場で実演を見て素晴らしい音楽性に心惹かれた上、自分の地元で盆踊りが開かれていることを知り、すぐに運営側に手伝いたいと申し出ました。

—— その会場にいたのが錦糸町の人たちだったのですか？

坂井:いえ、錦糸町の河内音頭は音楽関係者がステージの運営を行い、資金調達や地元との調整など催事の土台部分は商店街が担っていました。私は最初ステージ運営側から入りましたが、唯一の墨田区在住者ということもあり、コミュニケーションを図るべく翌年から商店街組織の担当になりました。当時は人手不足だったようで、働き手となるいい人材と見られたようです。気が付けば古くから地元にいる人の中で関係者の扱いとなり、寄付の呼びかけから公式Tシャツの製作まで様々な仕事を体験しました。

—— それで「錦元会」にも参加することになったのですか？

坂井:商店街を代表する山田昇会長(錦糸町河内音頭実行委員長)から「ユカコ、行ってこい」の一言で派遣されたかたちです(笑) それまでご縁のなかった事業者の方々と知り合うことができ、後にJR錦糸町駅前広場に道案内ブースを設置して会員の皆さんがボランティアで参加してくれるようになったことは本当に助かっています。

—— 今回は「祝・40周年記念」を掲げての開催になります。地元の名物に育ったことをどう感じておられますか？

坂井:高架下の大きな会場で踊り子が盛り上がる錦糸町河内音頭のスタイルは、小さな櫓が毎夜いくつも立つ本場大阪の盆踊りと比べても独特の雰囲気を持っています。長く続けていくための体制づくりは今も模索中ですが、町に馴染む独特の音楽性や濃密な雰囲気も錦糸町の魅力とともに海外に発信することも夢として語りたくありますね。



(2022年8月10日取材)

21年11月の「今年は、錦糸町で河内音頭」で、音頭取りにも初挑戦。「本所七不思議」を題材に作詞した自作の音頭を披露した